



～「聞こえ」が気になる方へ～



あなた自身やご家族等にこんなことはありませんか？

自分でチェック



- ☐ 会話のときよく聞き返してしまう
- ☐ 聞き間違いが多くなった
- ☐ 大勢での会話は聞き取りにくい
- ☐ ざわざわしている場所では会話が聞き取りにくい
- ☐ 後ろから呼びかけられると気づかない
- ☐ 話し声が大きいと言われる
- ☐ 横や後ろからの車の接近に気づかない
- ☐ 電子レンジ（チン）や体温計（ピッ）などの電子音に気づかない
- ☐ テレビやラジオの音量が大きいとよく言われる
- ☐ 日常的に耳鳴りがする
- ☐ 相手の言ったことを憶測で判断することがある
- ☐ なぜか人から怒られていると感じる

周りがチェック



- ☐ 聞き間違いや聞き返しが多くなった
- ☐ 聞いたことと違う答えをよくする
- ☐ そんな話は聞いてないと言うことがよくある
- ☐ 聞こえたふりをして適当に相槌を打つようになった
- ☐ 話しが大きくなった
- ☐ 後ろから声をかけると反応しない
- ☐ 会話をしたがらなくなったり、一方的にしゃべったりする
- ☐ 外出をおっくうがり、部屋にこもることが多くなった
- ☐ イライラしてちょっとしたことで怒るようになった
- ☐ 好きなテレビを見なくなった
- ☐ テレビやラジオの音量を大きくする

複数あてはまるようなら、まず**耳鼻科医院を受診してみましょう！**

● 加齢により聴力は低下する

高齢になると音を感じる細胞が減少し、誰でも難聴になる可能性があります。

聴覚の衰えは一般的に40歳代から始まり、高音域から低下していきます。最初の内はあまり自覚することはないですが、60歳代になると急激に聞こえが悪くなったと感じる人が増え、75歳以上では約半数が聞こえに悩んでいるという報告もあります。





- 年齢以外の原因も

中耳炎やウイルス感染などによる病気も難聴の原因になります。
この場合は治療できる可能性があるので聞こえにくいのは
「年のせい」だけとは限りません。



- 「聞こえにくい」を放っておくと

車や自転車など、音に気づかず事故の危険性が上がります。バランスが取りにくくなり転びやすくなることも。また、会話に支障が出てくると外出がおっくうになり、**認知症**や**うつ**、**要介護状態**になりやすくなると言われています。

受診の結果で補聴器が有効であると診断されたら、「大山町高齢者補聴器購入費助成事業」の利用もご検討ください。

目的	聴力機能の低下により日常生活に支障がある高齢者に対して補聴器本体の購入費の一部を助成し、閉じこもり、認知機能の低下等を防ぐとともに、積極的な社会参加及び地域交流を支援する。
対象	● 町内に住所のある満65歳以上の方 ● 障害者総合支援法に基づく補聴器支給の対象とならない方 ● 両耳の聴力レベルが概ね40～70dBで、県の聴覚障害区分指定医に補聴器が有用であると判断された方 ● 医師の処方に基づきテクノエイド協会認定補聴器専門店で購入した補聴器 ● 補聴器本体(両耳又は片耳)及び本体付属品を含む1セット ● 過去にこの要綱による助成金の交付を受けたことがない方
金額	購入費の1/2 上限30,000円 100円未満の端数は切り捨て



お問い合わせは

大山町役場長寿支援課 0859-54-5207 まで

